

令和5年度第3回丹波篠山市総合教育会議 議事録

1 日 時

令和5年11月21日（火） 16時29分～17時55分

2 場 所

丹波篠山市役所第2庁舎 2-301・302会議室

3 会議に出席した構成員

市 長 酒井 隆明
教育委員会
教 育 長 丹後 政俊
教育委員 西田 正志
教育委員 山本 恭子
教育委員 鈴木 友美
教育委員 吉良 佳晃

4 事務局出席者

学 校 教 育 部 部 長 西 羅 忠 和
こ ども 未 来 部 部 長 稲 山 悟
社 会 教 育 部 部 長 小 林 康 弘
学 校 教 育 部 次 長 岸 田 幸 雄
教 育 総 務 課 課 長 酒 井 寛 興
教 育 総 務 課 課 長 補 佐 山 内 俊 秀

5 次第及び協議事項

別紙の通り

酒井市長	1 開会 皆様、定例会開催後ということでお疲れの中ありがとうございます。
酒井市長	2 協議事項 (1) 教育大綱の策定について 前回の会議での意見及びその後に提出いただいた意見に基づき、教育大綱(素案)を資料1に、意見及び対応一覧を資料2にまとめている。それでは資料について、教育委員会事務局より報告願う。
酒井課長	●資料に基づき説明 ＜主な意見交換内容＞
酒井市長 丹後教育長	1. ふるさと教育 (1) 丹波篠山は魅力あふれるまち……日本遺産のまち、農の都 (2) 丹波篠山の食をいかす……学校給食日本一 (3) 自然とふれあう教育……学校にヒーローをつくろう 概ね、文章も整理できたと思うが、どうか。 「～ふるさとを担う心～」について、「～ふるさとを愛する心～」の方が分かりやすいと思う。
酒井市長	修正する。
酒井市長	2. 子ども・子育て支援の充実 (1) 就学前の保育環境の整備……丹波篠山だから ぐんぐんのびる (2) 早寝・早起き、朝ごはん もう少し丹波篠山らしさを加えたいので、担当部で加筆を検討願う。
酒井市長	3. 地域とともにある学校 (1) コミュニティ・スクール……市民みんなが学校づくり (2) 高齢者とともに学ぶ……おじいちゃん・おばあちゃんも学校へ 「学校は市民みんなのもの」としているが、「学校は地域みんなのもの」の方が分かりやすいと思う。学校においては、学校のことは地域のことと捉え、情報公開、意見聴取してほしい。
西田委員 酒井市長 丹後教育長	まさにコミュニティ・スクールの方針である。 オープンスクール以外でも地域に開かれた学校であってほしい。 学校は地域づくりも担っており、運動会等でも元気をいただいている。
山本委員	4. 学力の確立と向上 (1) 読み、書き、計算、自己表現……誰一人取り残さない 皆が一定以上の学力を有することは大事であり、「誰一人取り残さない」

	で、そのことがうまく表現できていると思う。
丹後教育長	(2) 市内高等学校との連携……丹波篠山で高校まで安心 「中学校と高等学校との連携を通じ～」の前に「幼少期から」を加筆してはどうか。
酒井市長	小学校が抜けているので、「幼少期を含め小学校、中学校と高等学校～」とする。 また、あり方を検討していることに鑑み、「丹波篠山で高校まで安心」を「丹波篠山で共に学ぶ」に修正する。
酒井市長	5. スポーツに親しむ 学校部活動の記述が弱い。指導員を入れて充実させていることや休日の部活動の地域移行等を加筆する。
西田委員	確かにもう少し具体的な記述があった方が良い。
酒井市長	文案を検討するので、事務局より資料提供願う。重要視していることを踏まえ、スポーツとは別に部活動を記述したい。
丹後教育長	教員の働き方改革が言われる中、部活動ではなく武術等でも人間性を育むことはできるので、部活動でなければダメなことはないように思う。
酒井市長	教室外での学びは大きい。都市部ではない地方部にとって、部活動はスポーツをする貴重な機会であり、だからこそ指導員の配置や生徒の選択の尊重に取り組んできた。
丹後教育長	部活動の重要性は理解するが、市民のスポーツ機会の確保も併記するべきと考える。
山本委員	市民のスポーツの機会確保も大事なことであり、加筆するべきと考える。
吉良委員	一生懸命に取り組むスポーツと親しむレベル、どちらも場が大事であると思う。
西田委員	スポーツ振興官にも広く活動いただいているので記述してはどうか。
酒井市長	意見も踏まえ文案を検討する。
	6. 丹波篠山ならではの文化を育む (1) 歴史文化の継承 (2) 新たな文化の創造 ＜特に意見なし＞
酒井市長	7. あいさつの励行 転入者からの評価も高く、続けていくことが大事であると考えます。
西田委員	活動が形骸化しないように理念を抑え取り組むことが大切である。
酒井市長	本日の意見を踏まえ、次回にとりまとめた案を協議する。

